

# 第 9 回 会 議 録

付属機関又は会議体の名称		池袋駅周辺地域再生委員会（第9回）
事務局（担当課）		都市整備部 再開発担当課長
開催日時		令和3年3月25日（木） 午前10時00分～午前11時30分
開催場所		豊島区庁舎8階 議員協議会室
出席者	委員	岸井隆幸（日本大学／委員長）、中井検裕（東京工業大学／副委員長）、国土交通省 市街地整備課 拠点整備事業推進官、東京都 都市整備局 都市づくり政策部長、東京都 都市整備局 都市基盤部長、東京都 建設局 道路管理部長、UR都市機構 東日本都市再生本部事業推進部 担当部長、東日本旅客鉄道（株）執行役員総合企画本部品川・大規模開発部長、西武鉄道（株）執行役員 鉄道本部 計画管理部長、東武鉄道（株）執行役員生活サービス創造本部まちづくり推進統括部長、東京地下鉄（株）鉄道本部 鉄道統括部長、（株）東武百貨店 経営企画部 担当部長、（株）西武プロパティーズ 執行役員 開発事業部長、（株）そごう・西武 施設部長、（株）池袋ショッピングパーク 取締役、（株）パルコ プロジェクト開発部 部長、（株）サンシャインシティ 常務取締役 まちづくり推進部長、（一社）東京バス協会 常務理事、（公財）東京タクシーセンター 指導部長、東京商工会議所 豊島支部 会長、豊島区商店街連合会 会長、豊島区町会連合会 会長、豊島区観光協会 常任理事、としまF1会議 委員、池袋駅西口地区市街地再開発準備組合 理事長、池袋駅西口地区事業協力者 三菱地所（株）再開発事業部長兼池袋開発推進室長、東池袋一丁目地区事業協力者 住友不動産（株）用地開発事業本部長、旧庁舎跡地活用代表事業者 東京建物（株）ビルマネジメント第二部長（兼 （一社）Hareza 池袋エリアマネジメント 代表理事）、西池袋一丁目地区市街地再開発準備組合事業協力者 住友不動産（株）取締役 専務執行役員 都市開発事業本部長、豊島区副区長、豊島区 危機管理監、豊島区 文化商工部長、豊島区 都市整備部長
	事務局	豊島区 地域まちづくり担当部長、豊島区 土木担当部長、豊島区 都市整備部 都市計画課長、豊島区 都市整備部再開発担当課長
公開の可否		公開
非公開・一部公開の場合は、その理由		
会議次第		1 開 会 2 委員紹介 3 委員長挨拶 4 議 事 1) 基盤整備方針策定後のまちづくりの動向について 2) 各部会等の活動について ・ 池袋 ターミナル案内サイン整備について [基盤検討部会] ・ 池袋副都心 交通戦略の更新（大臣認定）について [交通検討部会] 3) 池袋駅周辺地域の都市再生に関する検討体制について 5 そ の 他 6 閉 会

## ■委員長挨拶

- ・新しい組織体制として、池袋の広いエリアの東西の委員が加わり、議論ができるようになった。池袋全体の価値をあげることを、一緒に考えていきたいと思う。
- ・基盤整備方針としてアートカルチャーハブの核に設定した4つの公園の整備が完了している。空間だけの問題ではなくて、それをどのように使いこなすかが、これから問題になってくると思う。
- ・コロナ禍の中で、なかなか集まることが難しい状況であるが、その間にしっかり準備をして、同じ方向の次のステップに進みたいと思うので、よろしく願いたい。

## ■議事

### 【岸井委員長】

- ・議事次第に従って、まずは、資料の説明を、事務局から一括して、説明して欲しい。

### 【事務局】

(資料1 説明)

(資料2 説明)

(資料3 説明)

(資料4 説明)

(資料5 説明)

(各参考資料 説明)

### 【岸井委員長】

- ・資料の説明に対して、質問や意見などは無いか。

### 【委員】

- ・全体的に、資料や参考資料がわかりやすく、ことの通りの認識である。
- ・池袋駅と街をどのように一体的に作っていくのか具体的に検討していく段階に入っていると思う。
- ・JRでも各ターミナル駅で事業を進めているが、施工にも非常に時間がかかっており、計画調整の重要性を感じている。
- ・長期間かかる整備プログラムになっていくものもあると思うため、手戻りにならないためにも施工手順等の具体的なアクションプログラムを共通認識した上で進めていく必要がある。
- ・実践に向けて、事業間のプログラムを考えていく議論を進めていくべきだと考える。

### 【岸井委員長】

- ・これから、基盤整備方針のスケジュールの中期の段階に入る中で、様々なプロジェクトも起きてくる。東口広場、西口再開発、東西デッキも当然関係してくる。

- ・資料5にある「駅前広場検討WG」の中では、東西デッキの検討も行うのか。

#### 【事務局】

- ・「駅前広場検討WG」では、主に駅前広場のクルドサック化の調整を想定しており、デッキの検討は想定しない。
- ・既に設置済みの駅空間WGでは、防災、サインなどの検討をしている。
- ・大きな施工の流れとプランをすり合わせとなると、この駅空間WGでデッキの検討をすることが考えられるが、その際にはまた違うメンバーで検討していく必要があると感じている。若干ステージを変えながら調整する必要があると考えている。

#### 【岸井委員長】

- ・資料5の「駅前広場検討WG」における駅前広場検討では、駅前広場のクルドサック化の検討の場であるため、周囲も巻き込んだ議論にしないと合意形成できない。
- ・一方、さきほどの委員からも指摘があったように、施工手順を含め様々なことを考えないと手戻りが起きる。別の検討体制も、工事をやることを前提にした体制は、別に考えた方が良くもかもしれない。
- ・基盤整備方針の短期的に実現を目指す事業は、比較的、着実に進んできた。
- ・池袋は、他の地区と比較すると周辺部から攻めている印象がある。渋谷や新宿は、駅そのものから議論しているが池袋は公園が適切に配置されていることもあり、公園をタネにしながら周りから攻めている。
- ・公園等の周辺の整備が先に進み、中心である駅の周辺の整備をするのに、どのような体制で考えていけばいいか、ということかと思う。
- ・中井先生から、何かないか。

#### 【中井副委員長】

- ・景観検討部会のとりまとめを担当している。主な検討としては、東池袋一丁目の開発や、防災公園（イケ・サンパーク）という駅から離れたところで、割と独立してデザインの検討をしている。
- ・これから東西の駅ビルを作るときに、駅の対岸の事業と一緒にやろうとする場合、色々と調整協議していくこともでてくると思う。
- ・これまで、景観部会では、東口のエリアでは、駅から離れたところの検討をしてきたし、西口では、公園整備を含めて検討している。
- ・東口は、クルドサック化の検討をすることだが、機能の検討段階につながる形で、やがてはデザインの話も出てくると思う。
- ・基盤整備における駅前広場やデッキの検討における公共空間の設え等は、景観検討部会の関心事でもある。最初からということではないが、どこかの段階で、景観デザイン検討の立場から参加させてもらえればと思う。
- ・駅そのもの、駅機能についても、基本的には同じかなと思う。

**【岸井委員長】**

- ・資料5の体制は、まずは東口の交通広場のクルドサック化の検討をしたいということだが、関係者の協力をいただき進めないといけない。その時に今の中井先生の話は、西口との関係をどうするか、具体的には、西口の再開発との連携をどこで調整するか、機能の話と設えの話などについて、調整の場が必要だということだと思う。
- ・また、もう一つは「どう使うのか」という視点も含めて考える必要がある。「空間は確保しました」というだけでなく、個別のスポットが連携して、全体として強い空間になるような仕掛けを考えていく必要がある。
- ・アートカルチャー都市構想が推進されており、その延長かもしれないが、実際に空間を使う人達がどう考え、何を求めているのかも考えないといけない。
- ・まずは機能的な話からだと思うが、その上でどのように建物と広場を使うのか、広場をどう使うのか、次のステップを考えて欲しい。

**【中井副委員長】**

- ・まずは「機能」の話だと思うが、次に「作られ方」、その次に「使われ方」の3つのステップは関連するところもあるため、検討ウエイトは変えながらも一体的にシームレスに検討して欲しい。
- ・実際に、景観検討部会も3分の1は使われ方の議論である。そういうことにも注意してほしい。

**【岸井委員長】**

- ・空間として、一体的に考えていかなければならない、使い方を絡めていないといいものにはならないと思う。
- ・池袋駅については、駅の東西にはなっているが、一体的に考える必要がある。それは、機能や作られ方だけでなく、使われ方の面と一緒に考えないと解けないと思う。
- ・たぶん、今の3つのステップをぐるぐる回しながら、検討、議論するのだと思う。

**【委員】**

- ・今回の会議にさせてもらい、コロナ禍の中でもまちづくりの議論が着実に進んでいうことをわかりやすく見せてもらいありがたかった。
- ・防災公園（イケ・サンパーク）ができて、人が集まっているような状況もあり、コロナ禍で人が安心使える場所として使われていると感じている。公園そのものも魅力的ということもあって、公園の周りの歩行者道路等、周辺の人の流れが多くなったと思う。
- ・東池袋駅周辺では、痛ましい事故もあった場所ではあるが、その近くでも他の事故があり危険な印象がある。住民の中でも、そこを子どもたちが通るには危険ではないかとの意見がある。
- ・これから、再開発事業が進みマンションも増えて住民も増えていくと思うし、イケ・サンパークはさらに人が集まる場所になると感じている。

- ・池袋駅周辺の道路整備も重要だが、それとともに、環状5の1号線が出来て車の流れや人の流れが大きく変わっていく中で、特に歩行者の安全性も含めて、整備して欲しいと住民としては考えている。

**【岸井委員長】**

- ・公園が出来て多くの人を使うようになった。当然、周辺道路の自動車交通の処理や歩行者の安全面については考えなければならないということだと思う。
- ・地区交通のレベルの処理と一体だと思う。空間だけでなく交通規制等も含め考えた方が良いと思う。今後、考えていければと思う。

**【中井副委員長】**

- ・資料を見ていると、地と図の関係でいうと、図の部分が書かれているのだと思う。
- ・一方、池袋では、アートカル・スポットを作り、人が佇むことが出来、アートカルチャーの草の根のアクティビティのようなものも育てていくという地の部分にあたる話もある。
- ・地の部分も、少ないながらも、動いてはいるため、資料には無いが、どこかで地の部分の話もした方が良いと思う。

**【岸井委員長】**

- ・基盤整備方針では、「アート・カルチャー・スポット」の考え方等が書いてある。
- ・つまり、ハブ的な公園の整備は公共が行い、アクティビティを高めることを意図的に設えていく。
- ・一方、民間ビルの建て替えやリノベーションの動きがこれからでてくる時に、街全体としてアートカルチャー都市としていくためには、それらもそれなりの設えや使い方も大事であり、その状況等、何か言う必要があるのではないかと、という意見であったと思う。

**【事務局】**

- ・池袋の街の状況としては、コロナ禍の影響で、池袋でも店舗が少なくなっている。家賃が高いところから抜けている。
- ・関連した動きとしては、南北区道については、公開空地でキッチンカーを出したいとの声掛けをいただくことも増えた。平日ランチでチャレンジするという相談もある。経済活動が難しい中でも、少しずつ動きはある。
- ・ウォーカブルな街づくりには、歩くだけでなく佇む場所も必要と考えており、そのような民間事業者に向けて、椅子等を置くなど、佇む機能も入れてほしいと話をしている。
- ・東池袋駅周辺エリアについては、元々、池袋駅周辺とともに池袋のコアと位置付けており、引き続き先ほどの意見も含めて相談させてほしい。

**【岸井委員長】**

- ・そういう、小さな魅力的な個店が増えるのは、池袋にとっては大切なことだと思う。

**【委員】**

- ・先ほどのクルドサック化の話や、歩行者空間の確保の話聞いていて思ったのだが、最近、池袋でも、コロナ禍でウーバーイーツの自転車が aumentando。例えば、西口の駅前から一本入った路地裏に注文待ちの自転車が many いて、近隣では話題になっている。
- ・クルドサック化実現したときに人と自動車には言及があるが、自転車の扱いはどうするのか、という視点も入れたほうが良いように感じた。

**【岸井委員長】**

- ・確かに自転車は aumentando と思う。駅前でも考えていく必要がある。
- ・渋谷の広場の検討でも議論された。ある種のネットワーク、自転車の空間をどうとるか、考えていかなければならない。どこかで自転車との調和を考える必要がある。
- ・若い人は職住近接タイプを求める人が多いため、自転車通勤という傾向もあるため、これから考えた方がよい。

**【委員】**

- ・街の周辺が魅力的になっていき、いよいよ駅周辺へというフェーズにあると思う。
- ・先ほど、手戻りにならないようにとの意見があったが、施工の段階でそうならないように、プランニングの段階では、フィードバックしながら多少の手戻りを許容しつつ検討し、様々なすり合わせをした方がよいと思う。
- ・まず、公共空間の整備コンセプトを整理、組み立てていき、フィードバックしながらプランニングしていくフェーズであると思う。フィードバックしやすい体制を作った方がよいと感じた。

**【岸井委員長】**

- ・国土交通省では、ウォークブルの施策を進めている。そういうところで、国の支援をいただけたらと思う。

**【委員】**

- ・池袋では、他の地区と違って、駅ではなく、周辺部から動いており、周囲に積極性があることが特徴的であり、進んでいると感じている。
- ・池袋駅周辺とサンシャインシティ周辺も空白のような印象のため、この2つを積極的に動かすことが広域的には必要なことだと感じている。
- ・先ほどの議論がでていた駅前広場は、鉄道3社を跨ぐ形で東西をつないでいかなければならないと実感した。

- ・東京都としても、池袋は重要な拠点だと考えている。新宿や渋谷など色々な駅開発の調整しているため、池袋駅についても豊島区と協力していきたいと考えている。

#### 【委員】

- ・サンシャインシティは、基盤整備方針の中で、新しいアトカルハブとしてオレンジの色で着色されている。サンシャインは、開業43年であり、年間3000万人の来訪者が来ている。今後、さらにハブとしての機能を上げたいと思っている。
- ・豊島区からは、隣接している都市計画公園の東池袋中央公園を、第5の公園にしたいとの話を頂いている。積極的に進めてもらえれば、やりがいがある。
- ・先ほど使われ方の話があったが、サンシャインも50年前の都市計画を変更したいと考えており、国際競争力の強化に向けて、歩行者ネットワーク整備などハブ的な機能の設えを変更したいと考えている。
- ・街全体の使われ方という意味では、エリアマネジメント的な観点からも早い段階からソフト部分を重視して一緒に活動していくことが重要だと感じた。

#### 【岸井委員長】

- ・サンシャインシティの脇にある東池袋中央公園は、確かに空白のような印象なので、ぜひより魅力的にしてくために、頑張ってもらいたい。
- ・池袋には、他の駅にはない芸術劇場があり、ハレザ池袋もできて、タネは色々あるが、どう組織化するかだと思う。
- ・池袋では、行政が手を出して、街の魅力向上につながるという意味から、東西の公園の整備に着手し、民間だと西武鉄道のビルができる等、少しずつ雰囲気が変わってきているところである。今後もこのまま進めていきたい。
- ・今日は、短期的なことはやってきたということは再認識した上で、今後の駅周辺の検討については、どうも東口のクルドサック化のためだけの議論ではなさそうということで、体制等は再検討してもらえればと思う。

#### 【事務局】

- ・本日、色々意見をいただいて、実際の駅前広場の施工で手戻りが無いようにプランを練り、すり合わせる場は設けさせていただきたい。
- ・池袋駅周辺だけでなく、東池袋周辺についてもこれから進化していけるように意見を伺う場を設けていきたい。

#### 【岸井委員長】

- ・来年度は、コロナも納まり、賑やかにやれると良いと思うので、協力をお願いしたい。
- ・これで閉会にしたい。

(以上)

会議の結果	
提出された資料等	<p>資料 1 基盤整備方針策定後の 池袋駅周辺の まちづくり動向</p> <p>資料 2 池袋駅周辺地域 基盤整備 の進捗状況</p> <p>資料 3 池袋 ターミナル案内サイン整備について</p> <p>資料 4 池袋副都心交通戦略の更新について  [池袋副都心交通戦略 2020 更新版]  [南北区道周辺荷さばきルール]</p> <p>資料 5 池袋駅周辺地域の都市再生に関する検討体制 (案)</p> <p>参考資料 コロナ禍への様々な対応について  ( Mixalive TOKYO の取組み他)</p> <p>参考資料 池袋駅コアの整備イメージ</p> <p>参考資料 池袋 駅周辺地域再生委員会名簿</p>
そ の 他	